令和８年１０月２日

上ノ国町文化財施設建設基本設計

公募型プロポーザル審査結果のお知らせ

上ノ国町文化財施設建設基本設計に係る公募型プロポーザルについて、技術提案書及びプレゼンテーションの審査を実施し、選定委員会における厳正なる審査の結果、下記のとおり選定しましたのでお知らせいたします。

記

１．審査結果概要

応募事業者数：３社

２．プレゼンテーション審査実施日

令和８年 10 月１日

３．最優秀者および優秀者

・最優秀者（優先交渉権者）

事業者名：合同会社 WIP studio

評価点：160.2 点 / 170 点

・優秀者（次点交渉権者）

業者名：株式会社遠藤建築アトリエ

評価点：142.6 点 / 170 点

４．選定委員会 審査総評

本審査にあたっては、単に新しい建築物を建設するという視点にとどまらず、本町がこれまで育んできた歴史・文化財をいかに後世へ継承していくか、そして本ミュージアムを町民にとってどのような存在としていくかという視点を重視して審査を行った。

選定された最優秀者の提案は、以下の点において高く評価され、本町が目指すミュージアムの方向性と極めて良く合致していた。

（１）地域・文脈への深い理解と「エコミュージアム」の視点

・地域分析とストーリー性：詳細な現地調査と緻密な分析に基づき、本町の歴史・文化に対する深い理解が示されていた。

・まち全体への波及効果：施設単体の整備にとどまらず、町の空間構造を捉えた上で、地域全体に点在する文化財をつなぐルート形成、ならびに「地域へ人を導く仕組み（エコミュージアムの思想）」まで見据えた明快なランドスケープ提案がなされていた。

（２）未来へ紡ぐ「交流と学びの場」としての提案

・交流を生む拠点づくり：ミュージアムを単なる展示・収蔵の場ではなく、幅広い世代の町民が集い、学び、交流しながら地域の文化を未来へ紡いでいく場所として捉えていた。

・継続的な価値創造：建設・完成をゴールとせず、運用開始後も人々が集い、新たな活動や価値を創出し続けられるパートナーシップが期待できる提案内容であった。

（３）文化財保護と施策意図に対する的確な理解

・重要文化財への配慮：重要文化財をはじめとする文化財の特性を十分に理解した上で、適切な収蔵・保管場所および展示環境の計画がなされていた。

・イメージの具現化：内部パース等を用いて上ノ国町の思いや意図を的確に可視化しており、建築構造や機能面を踏まえた信頼性の高いデザイン姿勢が評価できた。

（４）ライフサイクルコストに配慮した実現性の高い計画

・コストの最適化：イニシャルコストのみならず、設備機器のメンテナンスや外構（植栽等）などの維持管理費（ランニングコスト）まで考慮し、本町の提示条件に最も即した現実的かつ持続可能な設計プランが提示されていた。

５．総括

最優秀者の提案は、紙面およびプレゼンテーションの双方から、本町に対する誠実な姿勢と強い熱意が感じられるものであった。今後、本提案の内容をベースとしつつ、町と提案者が一体となってさらに内容を深め、町民に親しまれ地域価値を高めるミュージアムの実現を目指していく。

以　上

上ノ国町文化財ミュージアム選定委員会
委員長　上野　敦也